

風薫る5月を迎えます。日頃より、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。地域の皆様におかれましても、子どもたちの様子をお見守りくださることに感謝申し上げます。

端午の節句を前に、柏餅を食する時期となりました。柏の葉には抗菌・防腐作用があり、柏の葉を巻くことで餅が傷むことを防ぐことができましたとされています。端午の節句に柏餅を供えるという風習は江戸時代に生まれ、参勤交代により全国に広まったとも言われています。柏の葉は丈夫でとても大きく育つので、食べ物を包む他に、器（食べ物を盛る葉）としての役割も果たしてきたということも興味深いことでした。本校にある柏の葉の様子を見ると、その葉の大きさに様々な謂れも納得します。5月2日（火）の給食には、特別メニューとして「柏餅」が出されることは嬉しいことだと思います。

さて、先週には様々な地域行事が行われました。4月22日（土）には、「小机村」にて、希望する子どもたちが保護者の方と一緒に、春作の苗植えと種まき体験をさせていただきました。おやじの会、小机小学校親の交流の場づくり事業運営委員会の皆様のご支援をいただきながら、草取り、肥料撒きから始まり、枝豆やトウモロコシ、小松菜、大根の種まきと、貴重な体験をさせていただくことができました。ふわふわの土の感触を感じながら、種まきの仕方を教えていただいたり、作業の待ち時間には生ほうれん草の試食をさせていただいたり、ここ小机をふるさととする子どもたちだからこそ、体験できる時間を一緒に過ごさせていただきました。小机小の子どもたちが、とても伸びやかなのは、こうした土や自然が織りなす豊かな風土に育まれる環境下で育つからだと感じる瞬間でもありました。

また、翌4月23日（日）には、4年ぶりの開催となる港北区3大祭りの一つでもある「小机城址まつり」が晴れやかに行われました。本校からも、マーチング参加児童、子ども武者隊の代表児童、そして職員も大人の武者隊として参加し、私もこの城郷地区の小学校長として「重臣」の役を仰せつかり、甲冑を着て、武者行列と出陣式に、港北区長・城郷中ブロックの城郷小校長先生とともに参列をいたしました。

商店街にも、出陣式が行われた金剛寺にも、たくさんの市民・区民の皆様、児童・保護者の皆様にお集まりいただきどれだけ地域の皆様がこの小机城址まつりの復活を待っていたのかを肌で感じる日ともなりました。

着任以来、小机城址まつり実行委員長の牧様や小机城のあるまちを愛する会会長の木村様から小机城の歴史資料をいただき、少しずつ小机のまちの歴史を紐解いているところですが、城址まつりに参加し、なお一層、小机のまちや歴史を知りたい気持ちが強くなっています。子どもたちは、ここ、小机・城郷をふるさととして育ちます。生まれ育ったまちを誇りに思い、大きくなった時には懐かしく思えるように、まちとのかかわりを豊かにもたせていただきながら過ごす6年間でありたいと思っています。

各学年がまちに出かける機会も増えてきています。様々な場面でお導きくださいますようお願い申し上げます。